為續公
四十七内

明應の頃所傳の歌仙絵事

相良遠江守　相良為續

新年祝事仕連ゝ令啓候
處近年去就當國不安ゝ
仕候て遠江の郡ゝ海路賜
義興様御事承候ゝ
以同意ゝ長入ゝ仕為
ゝ山代用注文ゝ歌仙一帖
相求申候京都ゝ上物
御座候ゝ新撰
定家卿集ゝ御意見被思召
申春ゝ見申候彩色下ゝ
仕候ゝ成就ゝ仕り祇載い
申候ゝ歌仙集ゝ向ゝ
二一仕ゝ代ゝ表装ゝ奉
新年祝事仕連ゝ令啓

明應ノ頃撰定歌仙集事

桐良遠江守

為信

新撰歌仙事、作連之令啓之
處、近年去就之儀、國中為之
作法、所以聊爾之海路賜
義興、相傳事、深秘之、
門葉之長人、以為家作
之法、用法文、為孔一流人
、好京都之嘉物、
中古春日殿、思之
成就之儀、
之、
有所作、恐之謹令
八月廿二日

為信

桐良左衛門尉藤原為信歌書連寄付之入手
新撰歌仙集分校書

右内府[illegible]恐々謹言

八月廿二日　光俊

相良遠江守殿

桐葉左衛門尉藤原敦光連歌付句入手

新撰発句集分抜書

秋下連歌の中に　何句とあり

嶺の松ちとせの色の

藤原秀績

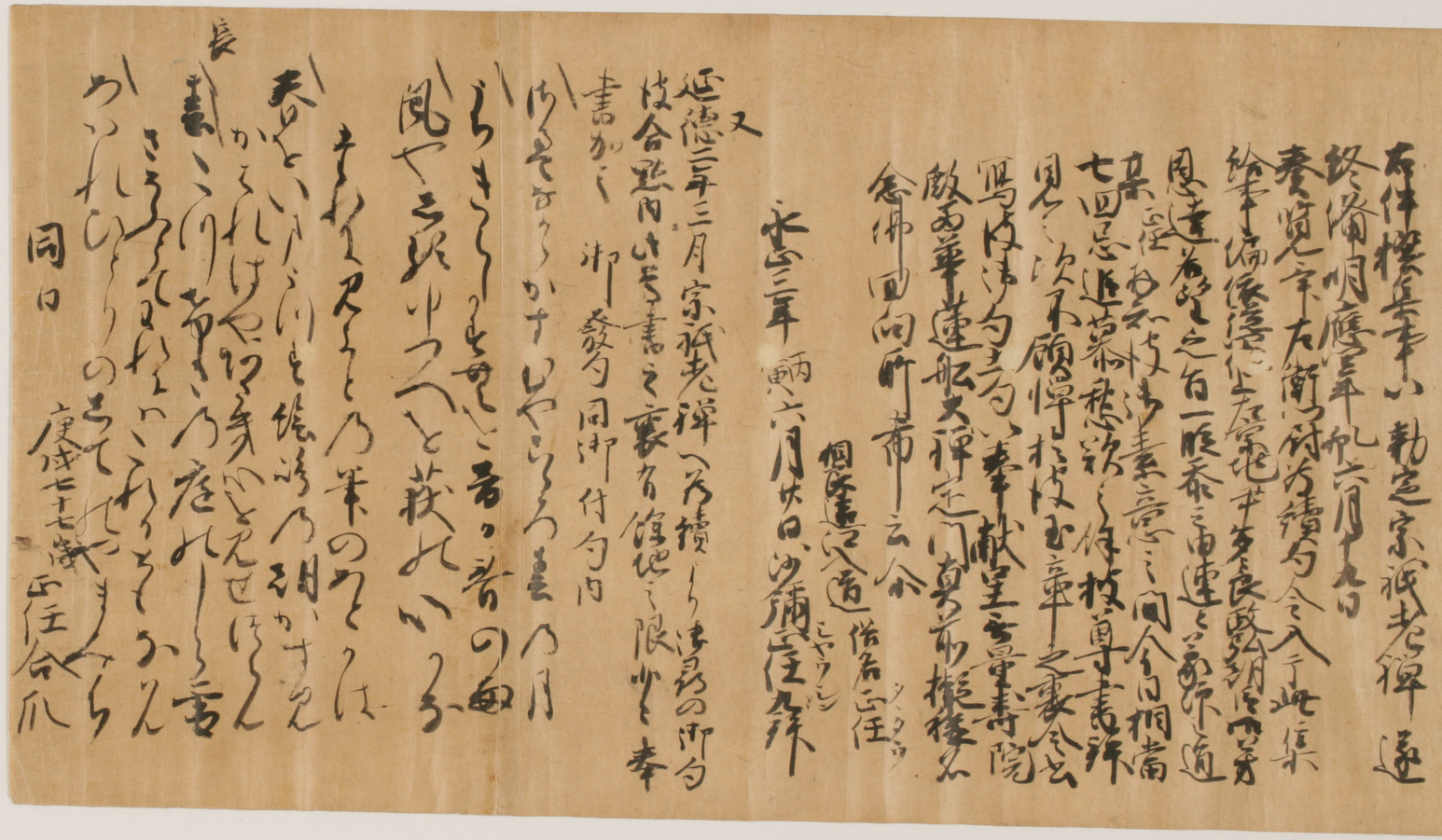
冬連歌の中に　何句とあり

忘中の連歌の中に　何句とあり

恋下の連歌の中に　何句とあり

雅経の連歌の中に　何句とあり

右件撰集者、勅定宗祇老禅遠終傳明應年中、六月十九日奏覧、宇左衛門尉秀績句、今入手此集、給事、偏偏落花生涯之面目、恩達者歟、之旨一昨日三条西連歌師、来臨、[illegible]、七回忌追善懇志、素意、[illegible]、[illegible]、見[illegible]、次不顧憚、[illegible]、[illegible]、[illegible]



右件模写者小勅定宗祇老禅遠
終俗明應三年九月十九日
奏覧者左衛門督為綱卿令入手此集
給者偏依法花仏経宗祇并多良政弘朝臣等
恩達為終之旨一昨奉三条殿遠之為御道
果座和哥法素意之間今日相當
七回忌追慕悲歎故為修尊素禅
門之次不顧憚拙筆之奉之
写法花法句奉献宝前寿院
飯西華蓮船大禅定門奥前摂様如
念仏回向所者也 布施云々

永正三年丙寅六月十九日 僧侶遠入道 佐名正任

又

延徳三年三月宗祇老禅へ為追善法華の御句
仮合歌百首書之裏ニ延徳ニ限リ奉
書加ル 御一巻ニ同御付句内

うちきらす雲の間
風や吹ぬらん
ちるもの花の
春といふらん

長

かくれけり
書こりの
さくらの
かゝれしひとりの

同日

宗祇正任合爪